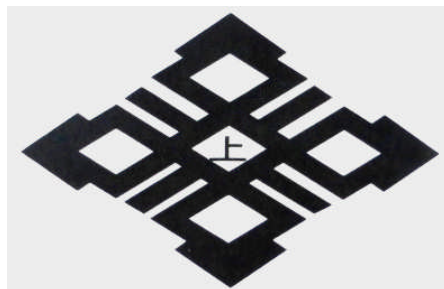


上川口小学校の校章のいわれ

「上川口」を表した校章です。中央に「上」の文字と、三本川に四つの口。川は牧川を表しています。



「教育の道は、四方に口を開いて天下に通ずる」という考えのもと、そのような学園にすることを願われて、榎原栄吉校長（第十五代：明治40～41年）のときに制定されました。

上川口小学校は、明治7年に野花の地に創立された廣運舎が起源です。

「廣運」とは、広くいきわたることを意味しています。また、「廣」は東西を、「運」は南北をそれぞれ表しています。校章の「四方に開いた口」は、「廣運」を踏まえているとも考えられます。



運動場にある名木

福知山市の名木100選に指定されている栴檀（せんだん）の大木が、運動場の東側にそびえています。

「栴檀は双葉より芳し」の故事にちなんで先人が植樹されたものと想像できます。香木である白檀（びやくだん）は芽を出したときから強い香りがすることから、立派になる人は、幼いころから優れていることのたとえとして使われます。

